

# アントレプレナープロセスにおける仏教マインドフルネス の役割

～エージェントベースモデリングデモンストレーションを使用した概念を中心～

兵庫県立大学 社会科学部、国際商経学部

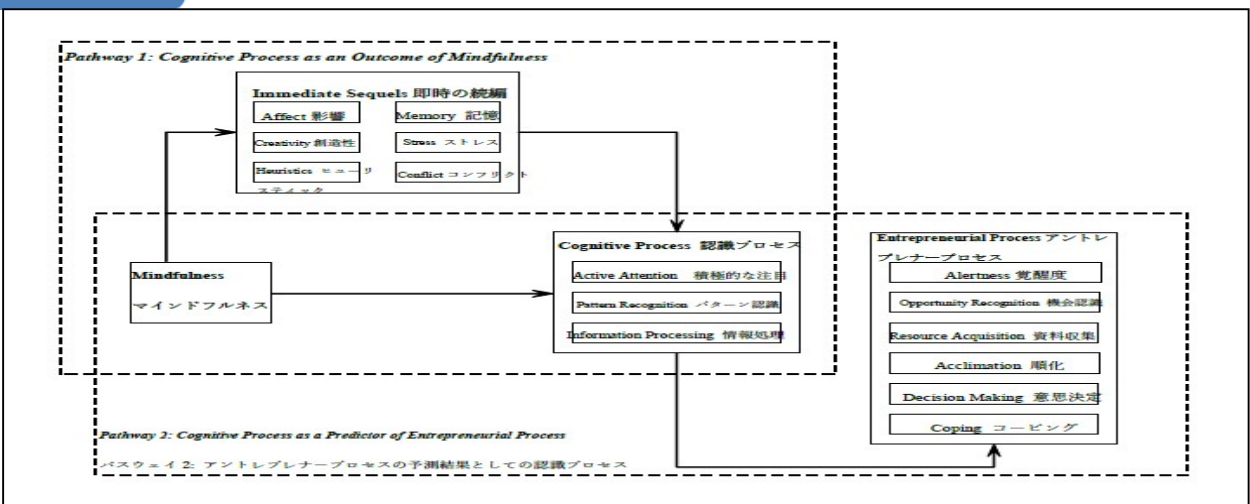
○准教授 ハリド サダム  
Khalid Saddam

## キーワード

アントレプレナー, エージェントベースモデリング, マインドフルネス, 認識, 感情

## 研究概要

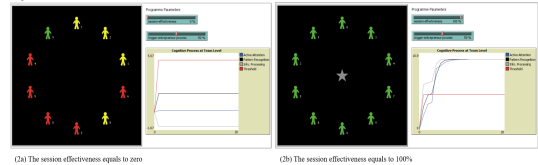
アントレプレナープロセスとマインドフルネスを繋ぐ二つのパスウェイモデル



## アピールポイント

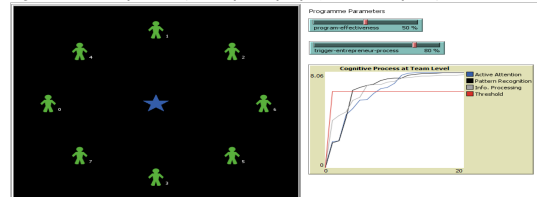
マインドフルネスは様々の研究分野に注目されてきているが、アントレプレナーシップの研究にはあまり注目されていない。が、先行する研究によれば、マインドフルネスは認識や感情に多く影響を与え、ダイナミック環境に大変コスト・エフェクティブで有利である。アントレプレナーが働く環境にマインドフルネスの関わりは大きな意味を持っていることから考えて、本研究はアントレプレナーシップにおけるマインドフルネスの役割を検討している。エージェントベースモデリングを使って、パスウェイ 2 を作り、マインドフルネスの影響を図ってみた。この成果は、国際的な研究会 (Asia Academy of Management) で口頭で発表している。

Figure 2. An illustration of two extreme scenarios



エージェントベースモデリングのデモンストレーション ①

Figure 3. An illustration of a specific session (Team size equals to ten participants; rounds of sessions equal to 20)



エージェントベースモデリングのデモンストレーション ②